

## 「同志社大学におけるカーボンリサイクル研究の取組みと人材育成プログラム」

同志社大学  
特別客員教授 石川 正道

同志社大学は、2021年に「同志社大学カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム」(以下 CRPF)を発足させました。「活 CO<sub>2</sub>」を標榜し、CO<sub>2</sub>を活用できる資源とみなし、CO<sub>2</sub>の再資源化・再エネルギー化を目指す研究から、「活 CO<sub>2</sub>」技術へとつながる成果の創出に意欲的に取り組んでいます。CRPFにて見出した成果を実技術に展開するために、リサイクル技術の3要素であるCO<sub>2</sub>分離・回収・利用の各フェーズについて企業との共同研究を核にして、これを統合したシステムとして実現する「カーボン・エネルギーリサイクルバンク (CERB)」の開発を進めています。

一方で新しい技術の社会実装には、これを担う社会イノベーターの養成が必須となります。そこで「学生と社会人との共修環境の提供」、「活 CO<sub>2</sub>に関する学問領域および研究分野の創出」、「活 CO<sub>2</sub>技術の社会実装」の3アイテムを一体的に進めることができる機能をCRPFに持たせています。

本講演では、同志社大学の以下の通り組みについてご紹介いたします。

- (1) 「活 CO<sub>2</sub>」技術の社会実装に関わる CERB プロジェクト
- (2) 企業の若手技術者と本学大学院生との共修教育プログラム
- (3) 今の自分を未来に置いて新技術を考案するフューチャーデザイン演習